

創業の原点

vol.4

「死んだ気でやればなんでもできるはず

平成六年、四十六歳で住宅会社を創業して十八年。脇目も振らずに事業に邁進してきた結果、おかげさまでこれまでで立てた経営目標をすべて実現することができました。あの悪夢のような出来事を機に、秋田の田舎で家業の豆腐屋を営んでいた私の人生が大きく展開したことを思うにつけ、運命の不思議さを感じずにはおられません。

あれは四十一歳の節目の秋。私は足の怪我から生じた血栓がもとで突如肺梗塞となり、担ぎ込まれた病院で三度にわたる心肺停止を経て奇跡的に生還を果たしたのです。魂が真っ暗な地の底からスーッと上昇するような感覚を得て、三途の川から引き返した私は、六か月もの苦しい療養生活を耐え、

本気で覚悟すれば 何事も成る

峠から飛び降りて保険金で借り入れを支払おう。文字どおり命懸けで創業したのです。

「物事を成就するには狂を發揮せざらん

顧客基盤のなかった私は、毎日百軒、毎月二千五百軒の戸別訪問を実践して仕事を獲得しました。

当時、心の支えになっていたのは、かねて愛読していた幕末の志士たちの物語でした。命懸けで時代を開いた彼らに比べれば、自分の苦しみなど取るに足りません。中でも高杉晋作の言葉は心の中で何度も反芻しました。

「凡人なる者が物事を成就するには狂を發揮せざらん」
普通の人間が何か事を成そうと思えば、人から狂ったと言われるくらいに無我夢中で打ち込まなければ成功はおぼつか

抜き、新しい一歩を踏み出したのでした。
「どうせ一度失った命。死んだ気でやればなんでもできるはず」

そう考えた私は、あえて地元秋田県を離れてなんの縁もない岩手県へ移り、背水の陣を敷いて会社を設立したのです。

その時立てた目標は、五年で岩手県一番の住宅会社になり、十年で県内に進出している大手住宅メーカーもすべて抜き、十五年で売上高五十億円を達成するというものでした。無謀ともいえる高い目標を立てたのは、自分の力をとことん試してみたかったからです。

これを実現するため、私は最初の三年間、年間三百六十日、朝の七時から夜中の十一時まで働くことを誓いました。自分に一億円の保険をかけ、万一失敗して会社が破産したら、仙岩

シリウスグループ
代表
佐藤 幸夫



ない。この言葉に発憤し、ひたすら全力疾走を続けた結果、当初の目標をすべて達成した上に、前期まで八期連続で岩手県内持ち家住宅着工戸数一位を実現。人が本気で覚悟すれば何事も成ることを身を以て体感しました。

当社の社名シリウスは、銀河系で最も明るく輝く恒星の名を冠したものです。この星の如くにお客様や社員を導き、幸せをもたらす存在であり続けたい。社内木鶏会を導入し、技術を超えた人間力の養成に務めているのもそうした思いからです。

当社は来年創業二十年の節目を迎えます。今後も起業当初の真摯な姿勢を忘れることなく、社名に恥じない事業展開を通じて、一層社会に貢献してまいりたい所存です。

取材：執筆／致知編集部

シリウスグループはおかげ様で8年連続岩手県持ち家着工棟数NO.1を達成しました

リビング通信社「岩手県住宅月報」2013.1月号より



- 新築
- リフォーム
- 太陽光発電
- 土地探し
- ローン相談



美しい地球を次世代へ

本社 / 岩手県盛岡市東安庭二丁目12-15

TEL.019-604-6860

株式会社シリウス

検索

建設業許可 国土交通大臣許可(般-22)第23867号/宅地建物取引業 岩手県知事(1)第2371号